

※保護者のご承諾をいただいた赤ちゃんを、
撮影・掲載しています。

あくあく育て 乳幼児健診

(平成22年12月24日＝千寿苑)

(平成22年12月17日＝蘇陽保健福祉センター)



清和小6年が清和文楽を上演



緊張の初舞台を終えた清和小6年生のみなさん



清和小の6年生15名が、12月11日、県立美術館で行われたワークショップ「子ども文楽たいけん」で、清和文楽の「傾城阿波の鳴門」を披露しました。これは、10月から12月にかけて県立美術館で開催された「清和文楽人形と今西コレクションの衣装人形」展に併せて行われたものです。

清和小では、6年生の総合学習の時間に、清和文楽館職員の指導を仰ぎ、清和文楽に取り組んでいきます。人前での披露は今回が初めてですが、人形遣い、三味線、語り手をそれぞれにこなし、6月からの練習の成果を見事発揮しました。上演後感想を聞かれた生徒たちは、「人形の動きや語り、三味線を合わせる事がとても大変だった」とその難しさを語っていました。2月15日には熊本県庁での披露も予定されています。



白石神楽完全復活！ 白石お天道さん神楽まつり

平成18年12月、途絶えていた白石神楽33座のうち6座が復活披露された第1回白石お天道さん神楽まつり。その後、回を重ねるごとに座を復活させていきました。そして11月27日、第5回となった今回、新たに披露された4座（伊勢神楽・たたら舞・由布舞・舞開きの舞）をもって、

33座すべてが復活しました。白石神楽保存会（佐藤孝義会長）は現在14名。神楽を復活させるという熱い思いを胸に、週1回の練習を重ねてきました。当日、会場となった西部交流館には地域の方々が大勢詰めかけて、復活した舞いを堪能しました。

